

デジタル化で描く未来の広島 3,179 件

この調査では、AI やデジタル技術を活用した業務効率化、生活利便性向上、行政手続きの簡素化、医療や教育のデジタル化、地域活性化、交通の効率化、安全なデジタル社会の構築など、多岐にわたる提案が集まりました。これらの提案は、住民の利便性向上、地域の魅力発信、持続可能な社会の実現を目指しています。



AI を活用した業務と生活の効率化 198 件

このクラスターは、AI 技術を活用して行政業務や職場業務、さらには日常生活の効率化を図る提案を統合したものです。これにより、業務の省力化や住民サービスの向上、生活の質の向上が期待されます。AI の導入により、情報案内や相談支援、個人化された生活提案などが可能となり、県民の利便性が大幅に向上することを目指します。

オンライン選挙投票の推進 114 件

このクラスターは、選挙プロセスのデジタル化、スマートフォンやインターネットを活用した投票システムの導入、そしてオンライン投票の実現を目指す意見を統合したものです。これにより、投票率の向上、利便性の改善、そして透明性の確保が期待されます。特に若年層や移動が困難な人々にとって、政治参加の機会を拡大する重要な施策となります。

効率的な業務と生活のデジタル化 95 件

このクラスターは、業務や生活の効率化を目指したデジタル化の推進に関する意見を統合したものです。ペーパーレス化や待ち時間の短縮、利便性の向上を通じて、時間の有効活用や環境保全を実現することを目指します。これにより、県民や職場の負担軽減とともに、持続可能な社会の構築に寄与します。

交通と買い物のキャッシュレス化推進 121 件

このクラスターは、広島県内の公共交通機関や買い物におけるキャッシュレス化と利便性向上を目指す意見を統合したものです。公共交通機関の支払い方法の統一化やキャッシュレス決済の普及により、県民や観光客がより快適に移動や買い物を楽しめる環境を整備することを目指します。また、顔認証技術やデジタルマネーの活用を通じて、効率的で便利な生活を実現するための基盤を構築します。

生活手続きのオンライン化 159 件

このクラスタは、住民票や戸籍謄本の取得、引っ越しや住所変更手続き、家族関連のライフイベント手続きなど、日常生活に密接した行政手続きのオンライン化を求める意見を統合したものです。これにより、住民が自宅から簡単に手続きを行える環境を整え、移動や時間の負担を軽減し、行政サービスの利便性を向上させることを目指します。

高齢者と地域のデジタル共生 347 件

このクラスタは、高齢者を中心に、デジタル技術を活用した支援や教育、見守りの仕組みを構築し、地域社会全体での共生を目指す意見が集まっています。デジタル技術の普及とアナログの選択肢を両立させることで、全ての世代が安心して利用できる環境を整えることを目指します。

医療と健康管理のデジタル革新 120 件

このクラスタは、医療サービスの予約や情報管理、遠隔診療、健康管理デバイスの活用など、医療と健康管理におけるデジタル技術の導入を通じて、利便性の向上とアクセスの改善を目指す意見を統合したものです。これにより、都市部から中山間地域まで、すべての住民が効率的で質の高い医療サービスを受けられる環境を構築し、健康維持と予防医療の促進を実現します。

行政手続きの柔軟化と効率化 183 件

このクラスタは、行政手続きのデジタル化を進めることで、窓口に行かずに手続きが完了できる仕組みを整えることを目指しています。また、対面サービスの重要性を認識し、柔軟な対応を求める意見も含まれています。これにより、住民の利便性を向上させ、時間や労力の削減を実現しつつ、必要な場合には対面でのサポートも提供するバランスの取れたサービスを構築します。

日常生活のデジタル利便性向上 148 件

このクラスタは、日常生活における情報管理、手続きの簡略化、認証技術の活用などを通じて、住民の利便性を向上させる提案を統合したものです。これにより、スマートフォンやデジタルデバイスを活用して、生活の効率化、安全性の向上、そして手続きの簡便化を実現することを目指します。

子育て関連手続きの簡素化と情報提供 128 件

このクラスタは、子育てに関連する行政手続きや支援情報の簡略化、デジタル化、効率化を求める意見を統合したものです。出生届をはじめとする手続きの一元化や、ライフイベントに応じた情報提供、プッシュ通知によるタイムリーな情報配信など、子育て家庭の負担軽減を目指した提案が含まれています。この統合により、子育て世代が必要な情報や支援を簡単に利用できる環境を整備し、広島県全体で子育てを支える仕組みを構築することを目指します。

未来の働き方と生活支援 217 件

このクラスタは、AI やロボット技術を活用して、柔軟な働き方や生活支援を実現する提案を統合したものです。これには、テレワークの普及、家庭や介護の負担軽減、地域活性化、そして人口減少への対応が含まれます。これにより、住民がより快適で効率的な生活を送ることができる社会を目指します。

地域安全と観光体験の融合 218 件

このクラスタは、地域の安全管理と観光体験を統合する施策に焦点を当てています。災害時のリアルタイム情報提供や避難誘導システムの整備とともに、観光地や歴史的資源をデジタル技術で体験できる仕組みを構築することで、県民と観光客双方にとって安全で魅力的な広島を目指します。これにより、地域の安全性向上と観光収益の増加が期待されます。

マイナンバー活用による生活手続きの効率化 160 件

このクラスタは、マイナンバーカードを活用して、税務、医療、教育、運転免許などの手続きの簡素化やオンライン化を進めることで、県民の生活をより便利にする提案が集まっています。これにより、窓口訪問や書類提出の負担が軽減され、効率的で透明性の高い行政サービスが実現します。

行政サービスのデジタル統合と利便性向上 82 件

このクラスタは、広島県内の行政情報や手続きに関するシステムの統合、簡素化、標準化を通じて、住民が直感的に利用できる仕組みを整備することを目指しています。これにより、地域格差のないサービス提供や、迅速かつ正確な情報アクセスが可能となり、県民の利便性が大幅に向上します。

広島未来型交通と移動支援 190 件

このクラスタは、広島県内の交通利便性向上、移動効率化、高齢者や観光客への支援、そして先進技術を活用した未来型交通の実現を目指す意見を統合したものです。公共交通のデジタル化、自動運転技術の導入、混雑管理、地域交通の効率化など、多岐にわたる提案が含まれています。これにより、住民や観光客が快適で効率的に移動できる環境を整備し、地域全体の活性化を目指します。

地域と行政のデジタル連携 133 件

このクラスタは、地域社会や行政業務におけるデジタル技術の活用を通じて、効率的で利便性の高い仕組みを構築することを目指す意見を統合したものです。これには、行政手続きの簡略化、地域間のデジタル化の進捗差の解消、障害者や高齢者への支援の強化が含まれます。これにより、県民全体がデジタル技術の恩恵を受け、より快適で効率的な生活を送ることが可能になります。

広島県の魅力と地域活性化 215 件

広島県の魅力を国内外に発信し、観光や地域産業の振興を図るとともに、通信インフラの整備や住みやすさの向上を通じて地域全体の活性化を目指す取り組みを統合したクラスタです。この統合により、観光、産業、住環境の各分野が相互に補完し合い、広島県全体の魅力と利便性が向上することを目指します。

安心安全なデジタル社会の実現 87 件

このクラスタは、デジタル化の進展に伴うセキュリティ対策、個人情報保護、誤情報対策、災害時の備えなど、住民が安心してデジタル技術を利用できる環境を整備するための意見を統合したものです。これにより、利便性と安全性を両立させたデジタル社会の構築を目指します。

教育と子育てのデジタル化 154 件

このクラスタは、学校教育や子育て支援におけるデジタル技術の活用を通じて、学びの質の向上、手続きの効率化、そして子どもたちの安全確保を目指す意見を統合したものです。これにより、教育格差の解消、保護者や教職員の負担軽減、地域全体での子どもたちの見守り強化が期待されます。

地域生活と観光のスマート化 110 件

このクラスタは、買い物、飲食、駐車場、観光、イベント情報など、地域生活と観光に関連する利便性を向上させるデジタル技術の活用に関する意見を統合したものです。これにより、住民や観光客が効率的に情報を取得し、快適な生活や観光体験を享受できる仕組みを目指します。

分析の概要

コメント数

2,953

抽出した意見数

3,179

集約した意見グループ数

20 → 140

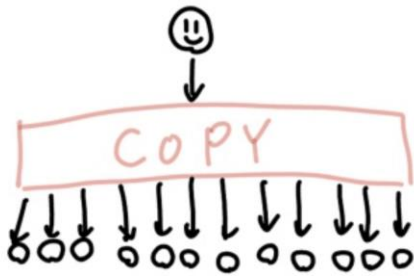
この生成 AI レポートは、「デジタル化で描く未来の広島は？」というテーマに対して寄せられた県民からの意見データを基に作成しています。分析対象となったデータの件数は 2953 件で、これらのデータに対して OpenAI API を用いて 3179 件の意見（議論）を抽出し、クラスタリングを行った。



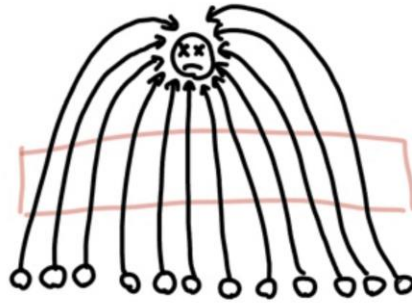
ブロードリスニングとは？

ブロードリスニングとは「広く声を収集し、収集した声を AI 技術で分析・可視化する手法」です。

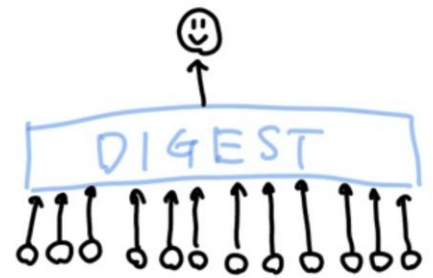
ブロードキャスト
一人の声を多数へ発信



既存の意見募集
受け取り側がパンク



ブロードリスニング
多くの声を上手に収集



かつてラジオやテレビなど放送技術の発展により、大勢の人に声を届けることが可能になりました。しかし大勢の声を聞くことはできませんでした。2023 年ごろから、大規模言語モデルの技術の発展により、大勢の意見を要約し、わかりやすく可視化したりレポートにまとめたりすることが可能になりました。この「大勢の声を聞く技術」のことをブロードリスニングと言います。